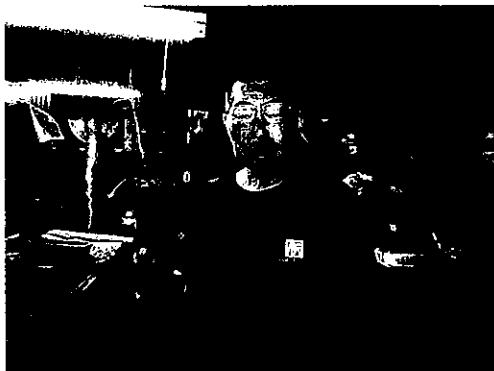


# 第50回「日本キワニス文化賞」受賞者

## 森本 光一氏(堺打刃物・包丁)



### 【プロフィール】

「堺打刃物」と呼ばれる包丁は大阪府堺市に生まれ育ち、その切れ味の良さから全国の料理人の包丁は90%以上が堺打刃物と云われるほど国内外で圧倒的な支持を得ている。

森本光一氏は昭和32年中学卒業後、家業である森本刃物製作所に就業し現在に至るまで半世紀以上に亘り、堺打刃物・包丁における刃付け(研ぎ)部門に従事、その間営々と本震研ぎの技術・技法の習得向上に精励し、今やその卓越した凄腕技術は「現代の名工」として厚生労働大臣賞を受けるほどに名人の域に達している。特にプロの料理人が使う刃物は、板場で使用した後の手入れで、料理人が研ぎ易いように砥石にピタッと刃面が当たるように仕上げるのが望まれるが、氏は長年の経験に培われた熟練した高度な技術と感性でもってこれを成し遂げ、業界内外より非常に高い評価を得ている。

また氏は通産大臣認定の伝統工芸士として、堺打刃物包丁は勿論のこと広く他の伝統工芸の伝承、発展向上にも意欲的に取り組んでおり、大阪市内のK百貨店での伝統工芸フェスタ「凄腕職人街」の企画・立案にも発足当初から参画し、現在では全国各地より名だたる伝統工芸士が出展するほどに人気を博している。森本光一氏の伝統工芸の振興・発展にかける熱意も大いに評価できる。

### 【略歴】

昭和63年2月 伝統工芸士認定  
平成14年3月 堺市ものづくりマイスター認定  
平成17年11月 大阪府優秀技能者表彰(なにわの名工)  
平成20年11月 厚生労働大臣表彰(現代の名工)

### 【選考委員】

|                |                              |
|----------------|------------------------------|
| 外部選考委員         | 山脇 良庸 氏(堺刃物商工業協同組合連合会 専務理事)  |
|                | 田中 伸五 氏(堺市商工労働部 ものづくり支援課 課長) |
| 日本地区文化委員長      | 三原 淳平                        |
| 泉州キワニスクラブ文化賞部会 |                              |